



# *Business Report*

## 第149期報告書

平成24年4月1日から  
平成25年3月31日まで

名古屋鉄道株式会社

## ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第149期の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、欧州債務危機問題や近隣諸国との関係悪化などの懸念はあったものの、東日本大震災の復興需要をはじめ、年度末には輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効果により、回復の動きが見られました。

このような状況のもと、当社グループでは、各事業部門において積極的な営業活動と経営の合理化に努めました結果、営業収益は前期に比べ1.0%増の6,098億3千6百万円となりました。営業利益は12.5%増の323億2千7百万円、経常利益は17.1%増の288億1千4百万円となり、当期純利益は15.7%増の127億2千6百万円となりました。また、当社単体の営業収益は前期に比べ1.7%増の997億9千万円となり、営業利益は0.8%減の125億4千3百万円、経常利益は19.3%増の124億1千5百万円、当期純利益は45.4%増の60億3千7百万円となりました。

以上の業績及び経営基盤強化に必要な内部留保を勘案し、期末配当につきましては、前期に比べ1円増額し、1株につき3円（中間配当を見送りましたので年3円配当）とさせていただきます。従前の配当額を回復するには至っておりませんが、ご理解とご了承を賜りますようお願い申し上げます。

当社グループでは、平成24年度からの3カ年に亘る「名鉄グループ中期経営計画～PLAN120～」を策定しています。当社グループは、この計画に沿った種々の取組みを着実に推し進め、今後も永く社会に貢献し、地域から愛される企業集団として存続するべく、更なる業績の向上に全力を傾注してまいりますので、何卒変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月



代表取締役会長  
河野 英雄



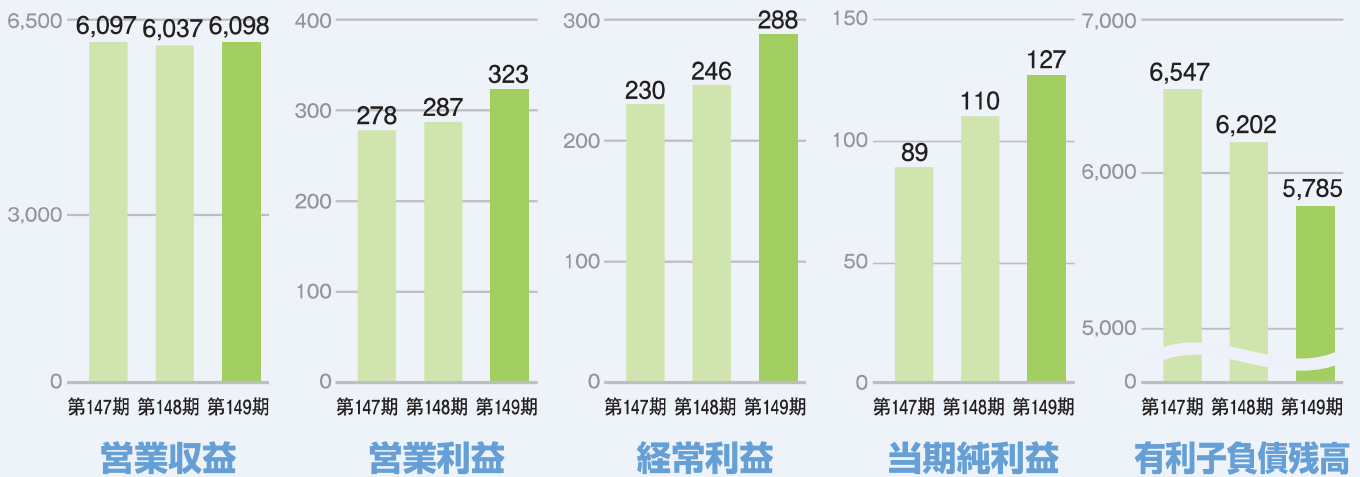
代表取締役社長  
山本 亜土

## 平成25年3月期 連結決算の概要

東日本大震災の影響からの持ち直しや、諸経費の削減に努めたことにより、増収・増益となりました。

### 主要連結経営指標の推移

(注) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。(単位：億円)



## 平成26年3月期の見通し

### 平成26年3月期 連結業績予想

金融緩和や経済政策への期待感から、緩やかな景気の回復基調が見られる一方で、欧州債務危機問題の影響が懸念されるなど、景気の先行きには依然として不透明感が残る状況にあります。

以上を踏まえ、平成26年3月期の連結業績予想については、営業収益は6,100億円(前期比0.0%増)、営業利益は291億円(前期比10.0%減)、経常利益は265億円(前期比8.0%減)、当期純利益は145億円(前期比13.9%増)としております。また、平成26年3月期末の連結有利子負債残高については、5,610億円(前期比175億5千7百万円減)を見込んでおります。

営業収益 **6,100**億円 前期比 0.0%増

営業利益 **291**億円 前期比 10.0%減

経常利益 **265**億円 前期比 8.0%減

当期純利益 **145**億円 前期比 13.9%増

### 配当見通し

平成26年3月期の配当については、中間配当は見送らせていただき、期末配当として1株につき4円を予想いたしております。

※上記の予想は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 名鉄グループの事業概況



### 交通事業

営業収益 1,568億74百万円 (前期比 0.0%増)

営業利益 140億98百万円 (前期比 16.4%増)

**鉄軌道事業**では、当社は瀬戸線に通勤型車両4000系24両を新たに導入したほか、ICカード「manaca」については、昨年4月に東海旅客鉄道(株)の「TOICA」との乗車券機能の相互利用を開始し、さらに本年3月には東日本旅客鉄道(株)の「Suica」をはじめとした全国の10の交通系ICカードによる相互利用を開始しました。営業施策面では、「犬山キャンペーン」をはじめとした好評の沿線都市観光キャンペーンを沿線自治体とタイアップして積極的に展開するとともに、ホテル等のランチと乗車券をセットにした商品を発売するなど、鉄道利用の促進を図ったほか、映画やテレビ番組などの映像制作にあたり、鉄道施設を撮影場所として提供する「名鉄ロケーションサービス」を実施しました。また、ダイヤ検索をはじめ、駅や周辺情報の取得のほか「manaca」の残額照会などもできるスマートフォンアプリ「名鉄Touch」のサービスを開始し、利便性の向上に努めました。事業全体では、輸送人員が増加したこともあり、増収となりました。

**バス事業**では、名鉄バス(株)は、昨年4月に名古屋市交通局野並営業所の管理を受託するなど、増収を図りました。また、バスの現在位置や運行情報を携帯電話などで確認できる「名鉄バスロケーションシステム」のサービスを春日井地区及び栄・名古屋駅～津島地区で開始するとともに、歩行者等にバスの接近をお知らせする車外向け注意放送装置を全車両に設置するなど、安全対策に取組みました。高速バス事業においては、「名古屋・新宿線」及び「名古屋・松本線」の車両に特別仕様の「Sクラスシート」の導入を進めるなど、サービスの付加価値向上に努めました。事業全体では、貸切需要が回復したこともあり、増収となりました。

**タクシー事業**では、営業拠点の見直しやグループの統廃合などにより、経営の効率化を図ったほか、名鉄タクシーホールディングス(株)は、名古屋市内の傘下会社3社のタクシー全車両に「プラズマクラスターイオン発生機」を設置し、サービスの向上に努めました。事業全体では、一部子会社を売却したことなどにより、減収となりました。



### 運送事業

営業収益 1,336億77百万円 (前期比 0.6%減)

営業利益 36億28百万円 (前期比 14.5%減)

**トラック事業**では、名鉄運輸(株)を中心に各社の連携強化を推進することにより、貨物輸送量の拡大を図るとともに、配送網の整備と配送エリアの見直しのほか、輸送品質の向上にも取組み、収益性の向上及び事業の効率化に努めました。しかしながら、事業全体では、一部子会社の清算などにより、減収となりました。

**海運事業**では、太平洋フェリー(株)は、前期に震災の影響があった一般旅客営業部門が回復し、乗船人員が大きく増加しました。また、往復パック商品の設定航路を拡大するなどの利用促進策を積極的に実施したほか、早期予約割引制度「早割」の利用が好調に推移したこともあり、事業全体では、増収となりました。



## 不動産事業

営業収益	933億20百万円 (前期比 6.1%増)
営業利益	86億97百万円 (前期比 2.8%減)

**不動産賃貸業**では、当社は「名鉄バスターミナルビル」の9階及び10階を貸室化して新規テナントを誘致したほか、昨年7月には、(株)中部経済新聞社などと共に建設を進めてきた名古屋駅前のオフィスビル「名古屋クロスコートタワー」の供用を開始しました。事業全体では、テナント数の増加などにより、増収となりました。

**不動産分譲業**では、当社は愛知県知多郡阿久比町の分譲団地「名鉄 陽なたの丘」の新街区「蒼空(そら)の街」の販売に取組んだほか、名鉄不動産(株)は、愛知県知多市において分譲住宅の開発を実施し、「新舞子オーシャンコースト」の販売を昨年7月に開始しました。事業全体では、分譲土地の一括販売があったほか、分譲マンションの販売引渡戸数の増加などにより、増収となりました。



## レジャー・サービス事業

営業収益	537億96百万円 (前期比 2.4%減)
営業利益	10億86百万円 (前期比 247.4%増)

**ホテル業**では、震災による影響のあった前期と比べ、大口団体宿泊の獲得やビジネス需要の回復などにより、多くのホテルで増収となったものの、事業全体では、一部子会社を売却したことなどにより、減収となりました。

**観光施設の経営**では、(株)名鉄インプレスは、「野外民族博物館リトルワールド」において、同館初となるイスラム圏の大規模家屋「トルコ イスタンブールの街」が本年3月に竣工したほか、「博物館明治村」では、平成22年12月から調査・点検のため休止していた京都市電及び蒸気機関車の運行を、それぞれ昨年9月及び11月に再開し、施設の魅力向上に努めました。しかしながら、一部子会社を売却したほか、ハイウェイレストランではE T C休日割引の終了に伴う駆け込み需要があった前期と比べ、利用者数が減少したこともあり、事業全体では減収となりました。

**旅行業**では、名鉄観光サービス(株)は、震災による旅行のキャンセルや出控えの影響を受けた前期と比べ、国内・海外旅行の取扱高が共に増加しました。



## 流通事業

営業収益	1,424億83百万円 (前期比 1.7%増)
営業利益	15億42百万円 (前期比 798.6%増)

**百貨店業**では、(株)名鉄百貨店は、本店及び一宮店全館において、「manaca」の電子マネーサービスを開始して利便性の向上を図ったほか、インバウンド顧客の受入体制の整備や、新規催事の開催による顧客誘致に取組みました。しかしながら、事業全体では、消費者の節約・低価格志向が続き、減収となりました。

**その他物品販売**では、(株)名鉄アオトの輸入車販売においては、店舗数の拡大に伴い、販売台数が増加するなど好調に推移しました。

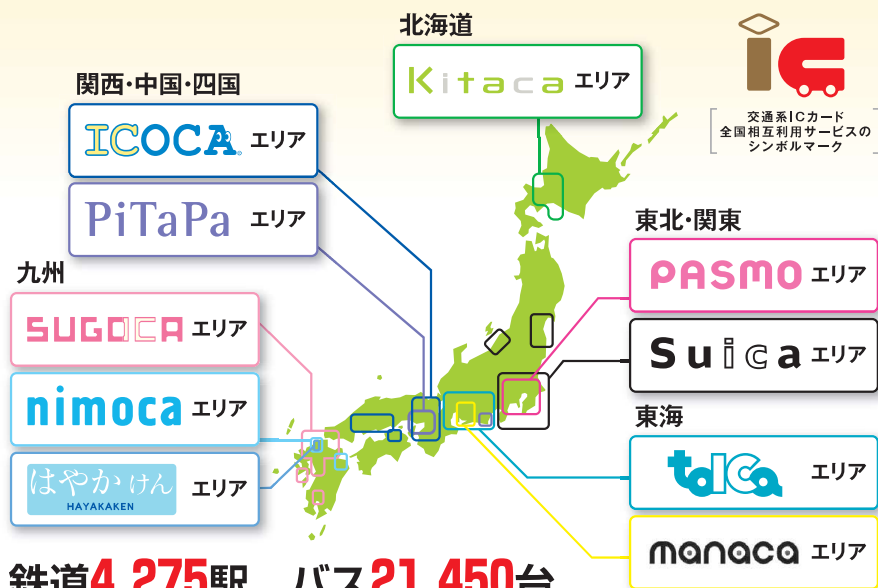


## その他の事業

営業収益	718億99百万円 (前期比 0.5%増)
営業利益	27億94百万円 (前期比 5.0%増)

**その他の事業**では、設備関連会社において、設備工事や保守整備事業が増収となりました。また、中部国際空港の国際線利用客が震災の影響から回復したことに伴い、名古屋エアケータリング(株)は、機内食調製の取扱量が好調に推移しました。

# 交通系ICカードの 全国相互利用サービス、ついに開始!



本年3月23日、全国の10の交通系ICカードによる相互利用サービスがスタートしました。JR東日本のSuicaをはじめ、全国の交通系ICカードのエリアにおいて、鉄道・バスのご乗車や電子マネーでのお買い物にmanacaがご利用いただけるようになりました。

## 各エリアでご利用いただける 主なサービス

- 自動改札機での入出場
- バス車載機での乗車・降車
- 自動券売機などでのチャージ
- カードご利用履歴の表示・印字
- カード残額を利用した自動券売機での乗車券等の購入
- 各電子マネー加盟店での電子マネーのご利用

鉄道**4,275**駅、バス**21,450**台、  
電子マネー**約198,750**店舗で利用が可能に!

(平成24年12月1日現在)

- 一部ご利用いただけない事業者やサービスがあります。
- 各エリアをまたがってのご利用はできません。(一部の場合を除く。)
- PiTaPaは電子マネー相互利用の対象外です。

## 映画やTVで名鉄が見られるようになるかも? 「名鉄ロケーションサービス」開始!

映画やテレビ番組、CM撮影などの映像制作にあたり、駅や電車などの鉄道施設を撮影場所として提供するサービス「名鉄ロケーションサービス」を昨年9月から開始しました。

映像や写真などの作品を通して、当社及び当社沿線の魅力を紹介していきます。

## 名鉄公式スマートフォンアプリ 「名鉄Touch」ダウンロード開始!

お客さまへのサービス向上の一環として、昨年9月18日から公式スマートフォンアプリ「名鉄Touch」のダウンロードを開始しました。

駅や周辺情報の取得、ダイヤ検索のほか、交通事業者では初めてとなるmanacaをかざすと残額照会ができる機能など、様々なサービスを無料で提供しています。



おサイフケータイ®対応機種にmanacaをかざすことでカード残額を表示



# リトルワールドに「トルコ イスタンブールの街」がオープン!



宮殿に暮らすスルタン(王)や妃たちの華やかな衣装

トルコののびーるアイスクリーム「ドンドルマ」

愛知県犬山市の野外民族博物館リトルワールドでは、開館30周年を記念して「トルコ イスタンブールの街」が本年3月16日にオープンしました。

著名な建築家ミマル・シナンが設計したイスラム世界の学校である「メドレセ」と、旧市街に建つ19世紀末建築の民家をモデルとした街並みが特徴です。

トルコの文化や生活を再現した展示のほか、世界三大料理に数えられるトルコ料理を味わえる店や、雑貨や民芸品のお土産店が並び、エキゾチックな雰囲気ただよう民族衣装の試着体験なども楽しめます。

# 新舞子オーシャンコーストが好評分譲中!

海まで  
1分

新舞子駅  
まで3分

名古屋の海浜リゾート「新舞子」の駅開業100周年に合わせ、「海沿いに映える街」「海好きが集う街」をコンセプトにした複合開発分譲住宅地「新舞子オーシャンコースト」が昨年7月に誕生、現在好評分譲中です。美しい景観と調和する爽やかな開放感に満ちた街並みには、建築物をはじめ、植栽や道路に至るまで自然を満喫する配慮が行き届いています。吹き抜けや大型収納、20帖を超えるLDKなど様々な間取りプランを取り揃えた戸建住宅が54区画、防災装備や環境性能も充実のハイクオリティマンションが82戸の海辺のコミュニティタウンを実現したビッグプロジェクトです。

一戸建て



ガーデンアヴェニュー

マンション



メイツ新舞子オーシャンコースト (平成26年3月竣工予定)

## 平成25年3月期 連結決算の要旨

### ■ 連結貸借対照表の要旨

(平成25年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>163,674</b>	<b>流動負債</b>	<b>323,689</b>
現金及び預金	10,420	支払手形及び買掛金	67,390
受取手形及び売掛金	59,922	短期借入金	135,133
分譲土地建物	56,221	その他	121,165
その他のたな卸資産	11,667	<b>固定負債</b>	<b>543,695</b>
その他	25,441	社債	119,995
<b>固定資産</b>	<b>939,301</b>	長期借入金	294,140
有形固定資産	820,994	再評価に係る繰延税金負債	63,971
建物及び構築物	322,812	退職給付引当金	28,904
土地	367,197	その他	36,684
その他	130,984	<b>負債合計</b>	<b>867,385</b>
無形固定資産	11,902	<b>(純資産の部)</b>	
投資その他の資産	106,404	<b>株主資本</b>	<b>145,251</b>
投資有価証券	78,783	資本金	84,185
繰延税金資産	12,807	資本剰余金	18,428
その他	14,813	利益剰余金	43,394
		自己株式	△756
		<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>72,485</b>
		その他有価証券評価差額金	9,387
		繰延ヘッジ損益	10
		土地再評価差額金	63,139
		為替換算調整勘定	△52
		<b>少数株主持分</b>	<b>17,852</b>
		<b>純資産合計</b>	<b>235,589</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,102,975</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>1,102,975</b>

### ■ 連結損益計算書の要旨

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
<b>営業収益</b>	<b>609,836</b>
営業費	577,508
<b>営業利益</b>	<b>32,327</b>
営業外収益	4,984
営業外費用	8,497
<b>経常利益</b>	<b>28,814</b>
特別利益	7,407
特別損失	16,160
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>20,061</b>
法人税、住民税及び事業税	5,286
法人税等調整額	893
少数株主損益調整前当期純利益	13,881
少数株主利益	1,154
<b>当期純利益</b>	<b>12,726</b>



## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,305
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,059
財務活動によるキャッシュ・フロー	△45,574
現金及び現金同等物に係る換算差額	9
現金及び現金同等物の増加額	680
現金及び現金同等物の期首残高	9,030
現金及び現金同等物の期末残高	9,710

## ■ 連結株主資本等変動計算書の要旨

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
<b>当期首残高</b>	84,185	18,428	34,253	△746	<b>136,120</b>	7,313	△0	60,077	△63	<b>67,327</b>	<b>16,798</b>	<b>220,246</b>
<b>当期変動額</b>												
剰余金の配当			△1,758		<b>△1,758</b>							△1,758
当期純利益			12,726		<b>12,726</b>							12,726
自己株式の取得				△20	<b>△20</b>							△20
自己株式の処分		△2		10	<b>7</b>							7
土地再評価差額金の取崩			△2,065		<b>△2,065</b>							△2,065
その他の変動額		2	237	△0	<b>240</b>							240
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						2,073	10	3,062	10	<b>5,157</b>	<b>1,054</b>	<b>6,212</b>
<b>当期変動額合計</b>		—	9,140	△9	<b>9,130</b>	2,073	10	3,062	10	<b>5,157</b>	<b>1,054</b>	<b>15,343</b>
<b>当期末残高</b>	84,185	18,428	43,394	△756	<b>145,251</b>	9,387	10	63,139	△52	<b>72,485</b>	<b>17,852</b>	<b>235,589</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 平成25年3月期 個別決算の要旨

### 貸借対照表の要旨

(平成25年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>29,993</b>	<b>流動負債</b>	<b>150,275</b>
現金及び預金	2,663	短期借入金	61,056
未収金	8,816	未払金	16,648
分譲土地建物	12,228	前受金	44,964
その他	6,284	その他	27,605
<b>固定資産</b>	<b>747,233</b>	<b>固定負債</b>	<b>447,139</b>
鉄軌道事業固定資産	391,678	社債	119,995
開発事業固定資産	154,654	長期借入金	249,346
各事業関連固定資産	5,584	再評価に係る繰延税金負債	57,540
建設仮勘定	50,244	その他	20,257
投資その他の資産	145,073	<b>負債合計</b>	<b>597,414</b>
関係会社株式	97,283	<b>(純資産の部)</b>	
投資有価証券	44,067	<b>株主資本</b>	<b>110,731</b>
その他	3,722	資本金	84,185
		資本剰余金	16,673
		利益剰余金	10,611
		自己株式	△739
		<b>評価・換算差額等</b>	<b>69,081</b>
		その他有価証券評価差額金	8,712
		土地再評価差額金	60,368
		<b>純資産合計</b>	<b>179,812</b>
<b>資産合計</b>	<b>777,227</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>777,227</b>

### 損益計算書の要旨

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで) (単位：百万円)

科 目	金 額
<b>営業収益</b>	<b>99,790</b>
営業費	87,246
<b>営業利益</b>	<b>12,543</b>
営業外収益	6,624
営業外費用	6,752
<b>経常利益</b>	<b>12,415</b>
特別利益	5,129
特別損失	11,563
<b>税引前当期純利益</b>	<b>5,981</b>
法人税、住民税及び事業税	66
法人税等調整額	△121
<b>当期純利益</b>	<b>6,037</b>

### 株主資本等変動計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本							評価・換算差額等			純資産計		
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		土地再評価差額金	評価・換算差額等合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計						
<b>当期首残高</b>	84,185	16,673	—	16,673	2,012	5,948	7,961	△729	<b>108,090</b>	7,062	57,745	<b>64,808</b>	<b>172,899</b>
<b>当期変動額</b>													
剰余金の配当					175	△1,934	△1,758		<b>△1,758</b>				<b>△1,758</b>
当期純利益						6,037	6,037		<b>6,037</b>				<b>6,037</b>
自己株式の取得								△20	<b>△20</b>				<b>△20</b>
自己株式の処分			△2	△2				10	<b>7</b>				<b>7</b>
土地再評価差額金の取崩						△1,625	△1,625		<b>△1,625</b>				<b>△1,625</b>
その他資本剰余金の負の残高の振替			2	2		△2	△2		—				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										1,650	2,622	<b>4,272</b>	<b>4,272</b>
<b>当期変動額合計</b>			—	—	175	2,474	2,650	△9	<b>2,640</b>	1,650	2,622	<b>4,272</b>	<b>6,913</b>
<b>当期末残高</b>	84,185	16,673	—	16,673	2,188	8,422	10,611	△739	<b>110,731</b>	8,712	60,368	<b>69,081</b>	<b>179,812</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 会社情報

(平成25年3月31日現在)

### 会社概要

設立年月日	大正10年6月13日
本店所在地	名古屋市中区名駅一丁目2番4号
資本金	84,185,525,064円
発行済株式総数	881,584,825株
株主数	90,132名
事業内容	鉄軌道事業、開発事業
従業員数	4,988名
ホームページアドレス	<a href="http://www.meitetsu.co.jp/">http://www.meitetsu.co.jp/</a>

### 役員

河野英雄	代表取締役会長	
山本亜土	代表取締役社長	
松林孝美	代表取締役副社長	[グループ統括本部長、グループ監査部・東京支社・秘書広報部・総務部・財務部・人事部・名鉄病院総括]
福嶋敏雄	代表取締役副社長	[不動産事業本部長]
横井孝範	専務取締役	[鉄道事業本部長]
安藤隆司	常務取締役	[人事部長]
武藤雅之	常務取締役	[病院事務部長]
内田互	常務取締役	[財務部長]
高木英樹	常務取締役	[鉄道事業本部副本部長兼計画部長]
柴田浩	取締役	[総務部長、東京支社担当]
拝郷寿夫	取締役	[事業企画部長、グループ監査部担当]
岩城史憲	取締役	[鉄道事業本部副本部長兼営業部長]
高崎裕樹	取締役	[不動産事業本部副本部長兼賃貸事業部長]
鈴木豊信	取締役	[秘書広報部長]
鈴木清美	取締役	[鉄道事業本部副本部長兼土木部長]
岡部弘	社外取締役	
河原英穂	常任監査役(常勤)	
小笠原敏彦	常任監査役(常勤)	
岡谷篤一	社外監査役	
川口文夫	社外監査役	
佐々和夫	社外監査役	

## 株主メモ

### 事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

### 剰余金の配当の基準日

期末配当の基準日は毎年3月31日です。また、中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日とします。

### 定時株主総会の基準日

定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日です。

### 公告方法

電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、中日新聞に掲載して行います。

\* 電子公告掲載ホームページアドレス  
<http://www.meitetsu.co.jp/profile/koukoku/>

### 株主名簿管理人

三井住友信託銀行株式会社

### 郵便物送付先・電話照会先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 ☎0120-782-031  
(受付時間：平日9:00～17:00)

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

確定申告をされる株主様は、大切に保管ください。

## 株主ご優待制度のご案内



当社の株主ご優待制度には、3,000株以上の株主様に、ご所有株数に応じて半年毎に贈呈する株主優待乗車証と、1,000株以上の株主様に、年1回一律で贈呈する株主ご優待券があります。

### 1 株主優待乗車証 優待基準









権利確定日	贈呈時期	有効期限
3月31日	6月上旬	12月15日
9月30日	12月上旬	翌年6月15日

ご所有株数	株主優待乗車証の種類	贈呈枚数(半年)
3,000株以上 5,000株未満	電車線片道乗車証〔普通乗車券方式〕 ・名鉄電車線で、1枚につき1名様1回限りご利用いただけます。 ・詳細は当社ホームページをご覧ください。	2枚
5,000株以上 10,000株未満		6枚
10,000株以上 15,000株未満		12枚
15,000株以上 20,000株未満		18枚
20,000株以上 25,000株未満		24枚
25,000株以上 30,000株未満		30枚
30,000株以上 35,000株未満		36枚
35,000株以上 40,000株未満		42枚
40,000株以上 100,000株未満	電車・名鉄バス全線乗車証〔バス券方式〕 ・ご持参の1名様にご利用いただけます。 ・名鉄バス株のバス路線には、高速バス路線などご乗車にできない路線があります。 ・各自治体のコミュニティバス路線などには、ご乗車になれません。 ・ご希望の株主様は、ICカード乗車券「manaca」への移し替えが可能です。 ・詳細は当社ホームページをご覧ください。	1枚
100,000株以上 500,000株未満		2枚
500,000株以上 1,000,000株未満		5枚
1,000,000株以上		10枚

### 2 株主ご優待券 優待基準



権利確定日	贈呈時期	有効期限
3月31日	6月下旬	翌年6月30日

ご所有株数	株主ご優待券の内容	贈呈枚数(年)
1,000株以上一律	〔電車線株主招待乗車証〕 名鉄電車線で、1枚につき1名様1回限りご利用いただけます。 	4枚
	〔リトルワールド、日本モンキーパーク、南知多ビーチランド&南知多おもちゃ王国の共通招待券〕 1枚で1名様1施設でご利用いただけます。 	6枚
	〔名鉄グループホテル・旅館宿泊優待割引券：20～30%割引〕 当社指定の名鉄グループホテル・旅館の1泊に、1枚で同時に4名様までご利用いただけます。 	4枚
	〔名鉄グループホテル飲食優待割引券：10%割引〕 当社指定の名鉄グループホテルでのご飲食時、1枚で同時に4名様までご利用いただけます。 	4枚
	〔名鉄観光サービス募集型企画旅行商品優待割引券：5～6%割引〕 パノラマトライヤジャンボマーチなど、名鉄観光サービス(株)の指定旅行商品を同社の店頭で購入する場合に限ります。1枚で同時に2名様までご利用いただけます。 	2枚
	〔名鉄百貨店の買物優待券：10%割引〕 食料品や特別奉仕品、一部ショップなど、割引除外の商品・店舗があります。100円未満の金額についての割引はございません。 	18枚

### 復興特別所得税に関するお知らせ

『東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法』に基づき、平成25年1月1日から平成49年12月31日までの25年間にわたり、上場株式等の配当等に係る所得税額に対して2.1%の復興特別所得税が付加されることになりましたのでお知らせいたします。

詳細は国税庁ホームページをご参照ください。

復興特別所得税 国税庁

検索

名古屋鉄道株式会社 総務部  
〒450-8501 名古屋市中村区名駅一丁目2番4号

環境に配慮した植物油インキを使用しています。

